

平成30年度第2回平塚市食育推進会議 会議録

日 時 平成31年(2019年)2月5日(火) 午前10時から11時05分

会 場 保健センター3階 会議室1、2

出席者 森政委員、小林委員、高橋委員、三浦委員、中久喜委員、久松委員、松本委員、中島委員、山本委員、高谷委員(計10人)、事務局

1 開 会

本会議は平塚市情報公開条例第31条に基づき、原則公開となる。会議終了後には、会議録をホームページに掲載する。傍聴者なし。河口委員、松本委員、江原委員、杉山委員、加来委員、下島委員から欠席連絡あり。

(1) 開会あいさつ

来年度は統一地方選挙と市長選挙が予定されている。新規事業については市長が決定してから改めて予算編成となる。また、5月には年号の改正、10月には消費税増税もあり、変革の年となる。食育推進計画は平成27年度から平成36年度までの10年計画で長期間の計画となっている。来年度に中間の見直しをすることになっていることから、皆様には見直しにかかるアンケートの内容について御意見をいただいたところである。健康課では同時期に健康増進計画を策定しており、同じく10年計画となっているため、アンケート調査については双方を併せ持った形とさせていただく。皆様からいただいた御意見と、市民健康づくり推進協議会の委員からいただいた御意見を踏まえてアンケート案を作成したので、本日は最終の確認をしていただきたい。

2 議 題

(1) 中間評価アンケート(案)について(資料1~3)

年度の表記については和暦で記載していたが、元号改正があるため西暦に変更した。また、市長名については市長選がある関係で名前は記載しないこととした。委員からいただいた御意見を資料2に集約し、それを踏まえて資料1のアンケート調査(案)を作成した。中間の評価をするためのアンケートではあるが、事業を実施している庁内担当課から指標には関係しないが、事業の成果指標として聞きたいという項目があったため、取り入れた項目もある。(問29~問33)

市民に送付する際は、表紙の鑑文を1枚とアンケートは裏表3枚という形にする予定である。

会長：何か意見はあるか。

小林委員：問27について、野菜が主に入る料理の2皿分の料理例などは、どのくらいの野菜が入っているかは家庭などによって異なることがある。確実に野菜が使用されていると分かる料理例のほうがいいのではないかと思う。例えば、焼きそばが野菜料理2皿分になるというのは分かりにくい。外国の方もいるなどいろいろなので、野菜を使った料理の定義が難しい。

事務局：料理例は、国が出している「食事バランスガイド」掲載のものを使用している。料理例から除いたほうがいいものがあれば、削除は可能である。

会長：食べたか、食べなかったか、という聞き方では漏れてしまうものが多く、前回では平塚市の野菜摂取量が少ないという結果が生じていた。カレーや焼きそばに野菜が入っている、ということは自分で作らないと分かりにくい、ということもあると思う。コロケが野菜料理というのも分かりにくいのではないか。

事務局：料理例にはすべて野菜が入っている、というような注釈を加えることも検討する。野菜が主に入る料理、ということを強調できるようにしたい。

三浦委員：いもやきのこも野菜なので、野菜や海藻としてはどうか。例えば、毎食、野菜や海藻をどのくらい食べているか、という設問にして、朝食何品、昼食何品、という回答にしたほうが答えやすいのではないかと。

事務局：糖尿病の治療では、いも類を主食としてカウントし、海藻やきのこについては野菜以外に摂取するという考え方もあるため、それとは区別するために記載をしてある。

会長：記入例の網掛けが薄くなってしまっている。例の箇所は囲みをするで見やすくなるのではないかと。

小林委員：記入例のところで、野菜が使われている料理に矢印をつけて何皿分、と記載したほうが分かりやすいのではないかと。

会長：計2皿分、というように計をつけるといいのではないかと。再度検討をお願いしたい。

高橋委員：リーフレットを使用してはどうか。

事務局：今から3,000枚を確保することは難しい。

会長：可能であればリーフレットをホームページで見られるようにしてもいいのではないかと。

事務局：「食事バランスガイド」の副菜をのせることはできると思うが、料理例は同じもので、写真ではなく、イラストになってしまう。また、購入するリーフレットは著作権の問題もある。さらに前回調査との比較をしなくてはいけないこともあり、大きな変更は難しい。記入例を見やすくし、野菜が主に入っている料理、ということを強調することで対応させていただく。

中間評価アンケートの進行管理については資料3のとおりである。委員の任期は5月末までとなっているため、交代される委員の方にも結果が確認できるようにホームページの掲載等を検討する。

3 その他

事務局：来年度の食育に関する事業について、庁内担当課からの報告をお伝えしたい。健康課では1歳7か月から2歳0か月までの幼児を対象に新規で教室を開催する予定である。離乳食完了後の食事や間食について、教室の中で1食分の幼児食を提供して保護者に確認をしてもらう。産業振興課、農水産課、商業観光課では、雑魚の商品化の取組み（シイラプロジェクト）や市内の商店に地場産品を使用してもらうようにアドバイスをするをを検討している、という報告があった。また、村井弦斎まつりについて、来年度は20回目となるため、企画を予定しているという報告があった。

ひらつかはぐくみ葉酸プロジェクトについて【(株)DHCとの協働事業】・・・当日資料
平塚市は(株)DHCと平成29年12月に健康づくりに関する連携協定を締結したところであるが、2月1日に開催された地域保健師研究発表会で発表した内容に基づいて説明をさせていただく。

平塚市では前市長のときから市民や地域との協働を推進しており、職員も協働に関する研修を定期的に受講している。現市長になってからは企業や大学との連携にも拡大している。健康課では、企業との協働推進を含めた健康づくり推進条例を平成28年に策定している。神奈川県では未病改善の取組みも盛んで、産官学、公民連携を推奨する流れがある。DHCとは、市民の健康増進、生活習慣病予防、食育、健康寿命の延伸、保健機能食品及び健康食品の適正使用について協定を結んでいる。資料の中の、健康な毎日は「栄養・運動・休養」から！というカラーのチラシは、平塚市オリジナルのもので、DHCによって作成されており、関係機関等に掲示をお願いしているところである。健康食品については、商品やそれに関する知識が氾濫しており、メーカーでも正しい知識の普及啓発が難しい

とのことである。消費者庁の調査では、国民の6割以上が健康食品を利用しているという結果が出ている中で、正しい知識がなかなか提供できていないということがある。それを踏まえて、昨年の3月に保健センターで講演会を開催し、約80人の参加があった。その後、公民館や地域住民の要望に応じてサプリメントに関する話をしているところである。高齢の方からは、食が細くなり調理することが難しくなる中で、サプリメントの利用も考えたが正しい知識を得る機会がなかったのでありがたかった、という御意見をいただいた。

10月には、葉酸の機能に着目した母子の健康づくり運動である「ひらつかはぐくみ葉酸プロジェクト」を開始した。プロジェクト開始のきっかけとしては、「ひらつかネウボラルームはぐくみ」において母子手帳交付時に全妊婦に対して面接を実施する中で、約1割に支援者が近くにいない、経済的に厳しい状況である、シングルマザーである、未婚や若年である、メンタル不調があるなどの状況が見られたことがある。その中に食生活や栄養面で問題を抱えている方が含まれていることが分かり、問題解決に向けてDHCの特別研究顧問である医師と協議をしてきた。国では、平成12年から二分脊椎症の発症予防のため、妊娠1か月前から葉酸サプリメントを摂取しましょうと啓発しているが、それ以外にも葉酸は流産、早産、低出生体重児、発達障害、産後うつなどのリスク低下にも役立つと言われており、母子保健に関して活用しやすい栄養素ということでプロジェクトを立ち上げることとなった。

妊娠1か月前からの葉酸サプリメントの摂取率調査では、平塚は啓発を開始する前で28.3パーセントであった。妊娠を希望している方はできるだけ摂取していただきたいと考えている。また、ネウボラルームには来年度4月から専任の管理栄養士を配置し、妊婦と面接して栄養指導を行う予定である。

平塚市は葉物野菜やイチゴの産地であり、それらに葉酸が豊富に含まれることから、ホームページや広報などでも周知をして地産地消やシティプロモーションという点からもプロジェクトを展開していく予定である。プロジェクト開始にあたって、キックオフのトークイベントを昨年10月23日に市役所で開催した。その際、DHCから特別研究顧問、平塚からは湘南ひらつか織姫が出席してシンポジウム形式で開催し、市の職員が40人程度、一般市民が20人程度参加した。今後もプロジェクトを進めていきたいと考えているので、御理解と御協力をお願いしたい。

会長：国ではサプリメントでの栄養摂取について勧めておらず、基本的には食品で、という立場だが葉酸に関してはサプリメントの利用も推奨しているという状況がある。妊娠に気がつくのが5～6週を過ぎてから、という場合もあり、それからの摂取では遅いとも言われている。計画的に妊娠を予定している方には、市が主体となって葉酸摂取を勧めることは、健康な赤ちゃんの出産とその後の育みに有効だと思われる。今後、市、メーカー、市民とで良い関係を作ることができればいいと思う。

4 閉会

以上